

## 制服について

今年度も2ヶ月が過ぎ、1年生も学校やクラスに大分慣れてきた頃かと思います。今日はこの機会を借りて「きちんとした制服着用の意義」について話したいと思います。

すでに6月1日から衣替え、夏バージョンの制服となって、ネクタイもはずし、上着も着用しない時期となっています。そんな中、冬場の制服同様、買った時のままスカートを短くすることもなくきちんと制服を着用している人も多いのですが、中にはスカートを短くしたり、ブラウスやシャツの裾を縛ったり、そしてさらにそれらを隠すためにウエストのあたりにシャツをだぶつかせたりと、おかしな着方になってしまっている女子もいるようです。男子も腰パン、シャツのはみ出し等、だらしない着方の人もいるようですので、この際、男女とも制服はきちんと正しく着る、ということで徹底していきたいと思います。

すでに6月1日より、朝と放課後のSHR時、授業の開始時、清掃時、部活動の時、さらに登下校時等、あらゆる場面で全員の先生が服装を点検し正しています。にも関わらず、まだきちんとした制服着用ができない人が少なからず見受けられます。もし今後もこういう状況が続くようなら、何らかの罰則規定を設けるなど、厳しい指導に移ることも考えています。そうしなくてもすむよう学校の中でも外でも常にきちんとした制服着用を実行して下さい。

では何故、制服をきちんと着なければならないのでしょうか。主な理由を3つ挙げておきます。

まず一つ目の理由としては、きまりを守れる人間になってもらいたい、ということがあります。法律や規則を遵守でき、将来、社会の中で立派に通用する人間になってもらいたい、という願いです。規則としてきちんとした制服着用が義務づけられている以上、それを守ることは、そこに所属するものとして当然だ、ということです。勿論、制服の着方については「生徒手帳」の中の「生活心得」に明記されています。いわゆる「校則」です。

「校則」も規則の一つです。規則を守れる人間になる、これは学校の大事な目標の一つです。

二つ目の理由は、生徒一人一人のため、ということです。昔からよく「制服の乱れは心の乱れ」と言いますが、一見していかにもだらしない、といった制服の着方になっている人にはほとんど例外なくこれにあてはまります。スカートが短い上にシャツを縛ったりはみ出したりボタンをいくつも外したりと、いかにも着くずれている人、だらしない人はほぼ間違いなく心の乱れの現われです。そしてそういう格好をしている内に中身もますますそういう人間へと変わってってしまうのです。社会の人達から見て、制服をきちんと着用している人はとても感じいいし、中身もしっかりしているように見えます(実際、しっかりしている人がほとんどですが)。当然、就職などではそういう人から採用されること

になります。何重もの意味で、制服をきちんと着用することは一人一人のためになるのです。

そして三番目の理由は、桐生西高をもっともっと評判のいい学校にしたい、ということです。地域の人達は制服をだらしなく着ている高校を評価してくれません。大人ばかりではありません、良識のある子どもたちなら、そんな学校に魅力を感じないはずです。「世間」からの評判が悪くなればそういう学校への希望者はどんどん減っていきます。逆に、制服姿のきちんとした感じのいい学校はどんどん世間の評判が上がっていきます。入学希望者も増えていきます。

以上、主な理由を3つ挙げましたが、言うまでもなくこの3つは連動しているものです。規則がしっかり守れる生徒、つまり制服がきちんと着用できる生徒達ばかりになれば世間での評判や信頼度も上がり、学校への誇りも自分への自信も持てるようになります。学校が世間から認められるようになれば進学も就職もぐっと有利になります。学校の評判、信頼が巡り巡ってまた生徒一人一人の高校生活や進路選択に帰ってくる、ということになるのです。

制服をきちんと着用する意味、しつこいくらい指導している意味が理解してもらえたでしょうか。生徒全員が制服をきちんと着るようになって見違えるようによくなった学校を私はいくつも知っているし、逆に制服の乱れをきちんとできずに立ち上がれないほど評判を落としてしまった学校も知っています。制服とは、学校を一步出れば自分の身分証明書として皆さんを様々な危険から守ってくれるものでもありますが、一方、制服姿の皆さんは桐生西校の歩く広告塔として学校の評判を良くも悪くもするのです。

この機会に全員が制服をきちんと着て、もっともっと素晴らしい学校にしていきたいと思います。

(保護者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。)